

旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会（第1回）の主な意見

開催日時：令和2年（2020年）10月26日（月）9：30～11：30

開催場所：八王子市学園都市センター 第1セミナー室

1 旭町・明神町開発について

- 開発の具体的内容が地元を示されていない。地元では、まちがどのようなになるのか分かっていない人が多い。早く全体のイメージのようなものを地元を示してほしい。
- 都市型広場でフェスティバルなどのイベントが可能となる設備が必要。水道・排水設備、公衆トイレや仮設テントが設置できる設備など。
- にぎわいの核となる都市型広場の作り方が大切。
- 産業交流センターを含めた広場の一体性なども議論できるとよい。
- 飲食店の方々は、人が集まる場所ができ、お店にも寄ってくれることを期待している。機能として、地元の飲食店や商店街になじむものがあるとよい。イベントスペースも、商店街と連携しながらやっていくとよい。

2 まちづくり構想について

(1) コンセプト、目標に関するもの

- 上位計画等の上位概念とこの場所での具体的取組のリンクが大事である。
- 議論にあたり、イノベーションのイメージを具体的に示すことが重要である。例えば、地元企業や、町会など既存コミュニティの変革を促す交流の場など。
- 具体的にイノベーションをどのような形にして取り組むのかが難しい。
- 事業者・従業者をイノベーションで増やすという視点で取り組むべきである。
- イノベーション創出まちづくりに関しては、具体的な対応例や実際の担い手の検討を今から行っていくことが必要である。

(2) 土地利用に関するもの

- 生活利便複合ゾーンのイメージが見えてこない。
- 生活利便複合ゾーンでは共同化等で新しい機能を入れることに疑問であり、高度利用する時代でない。
- 当地区以外の中心市街地との関連も意識し、当地区をきっかけとし中心市街地全体に波及させる。
- 中心市街地全体の考え方を提示してほしい。

(3) 都市基盤整備方針に関するもの

- まちに開かれ、用がなくても立ち寄れる公園としたい。
- 道路占用などを活用して街路のにぎわいを創出し、楽しんで歩けるようになることを期待したい。
- 現在の駅前広場には余地がないので、交通結節点機能のある広場は現状の駅前広場で確保し、当地区全体を一つの駅前広場として捉えてはどうか。
- 東放射線は、歩行者中心として、自動車や車線を減らす等大胆に行うことも考えてはどうか。